

レセプト電算 CD-R 作成手順書

Ubuntu14.04 平成 29 年 3 月 1 日版



1. CD-R への電子データ（レセプト電算データ）記録手順

1. クライアント保存後、未使用の CD-R ディスクを内蔵（または外付け）光学ドライブへセットしてください。



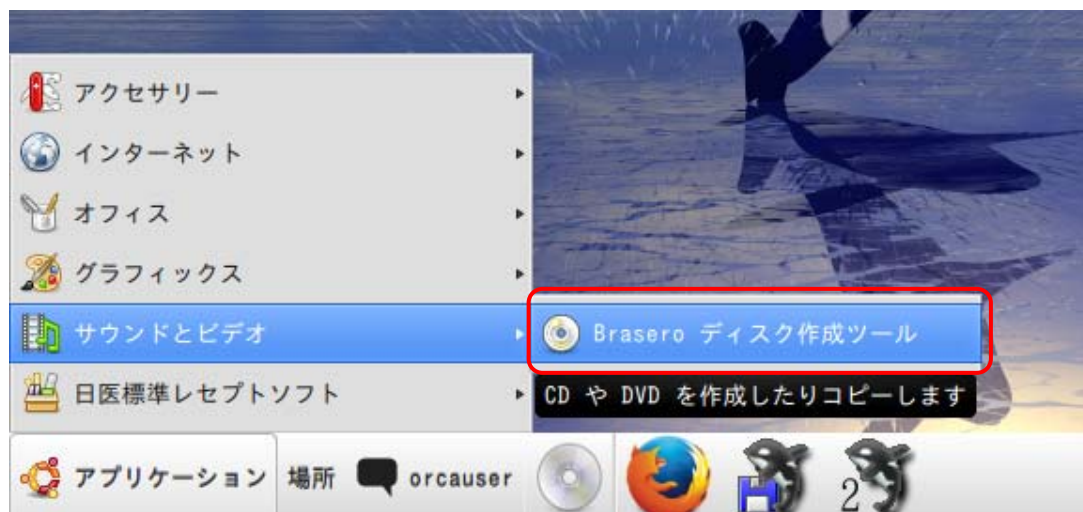
- ① 光学ドライブのイジェクトボタン（左図の赤丸）を押してトレイを開きます。
- ② トレイに CD-R ディスクを「文字が印刷されている面を上にして」トレイにセットします。
※サーバ本体を縦置きしている場合は、CD-R ディスクを「文字が印刷されている面を左にして」トレイにセットします。
- ③ イジェクトボタン（左図の赤丸）を押してトレイを閉じます。

セット後は 1 分程度待ってから、次の操作を行ってください。

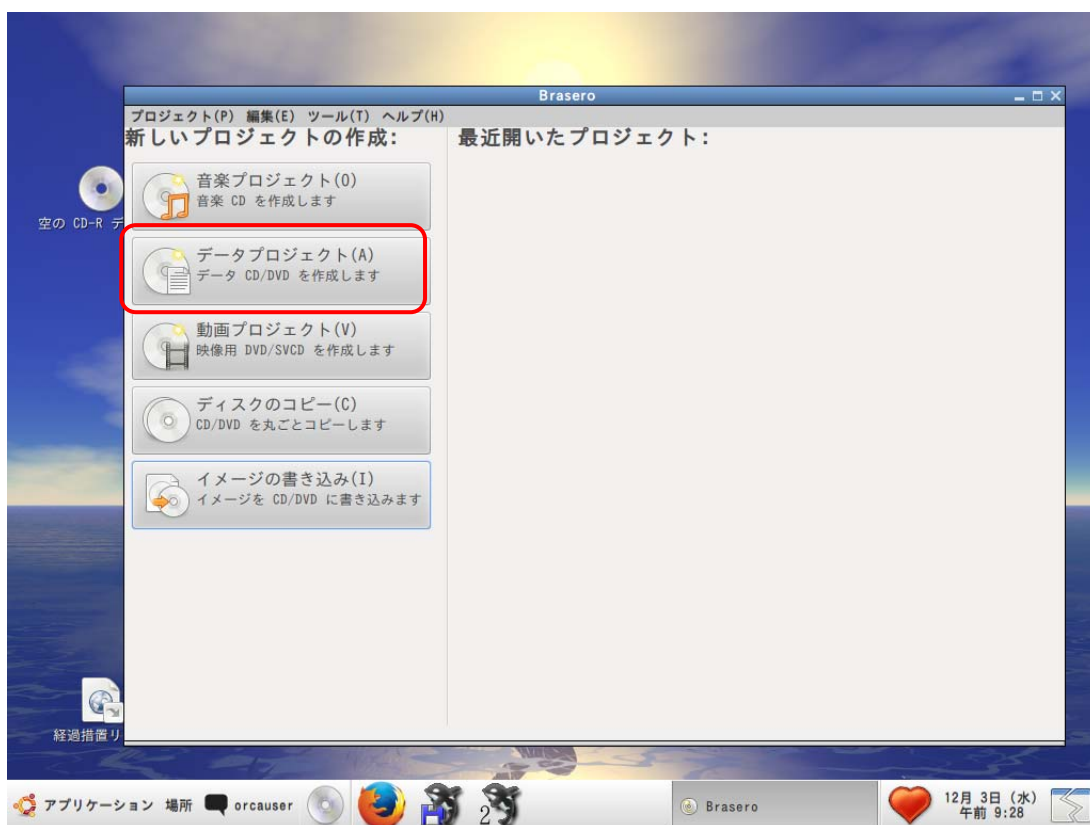


デスクトップに「空の CD-R ディスク」というアイコンが表示されます。

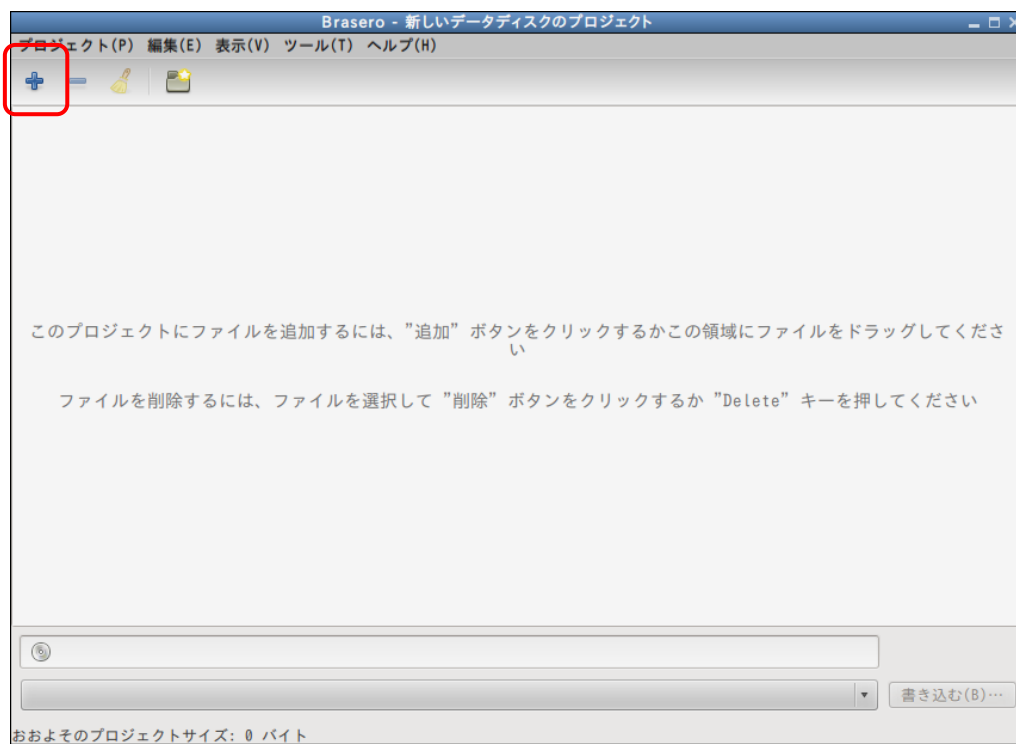
2. パネルの「アプリケーション」メニューから「サウンドとビデオ」→「Brasero ディスク作成ツール」を選択します。「Brasero」が起動します。



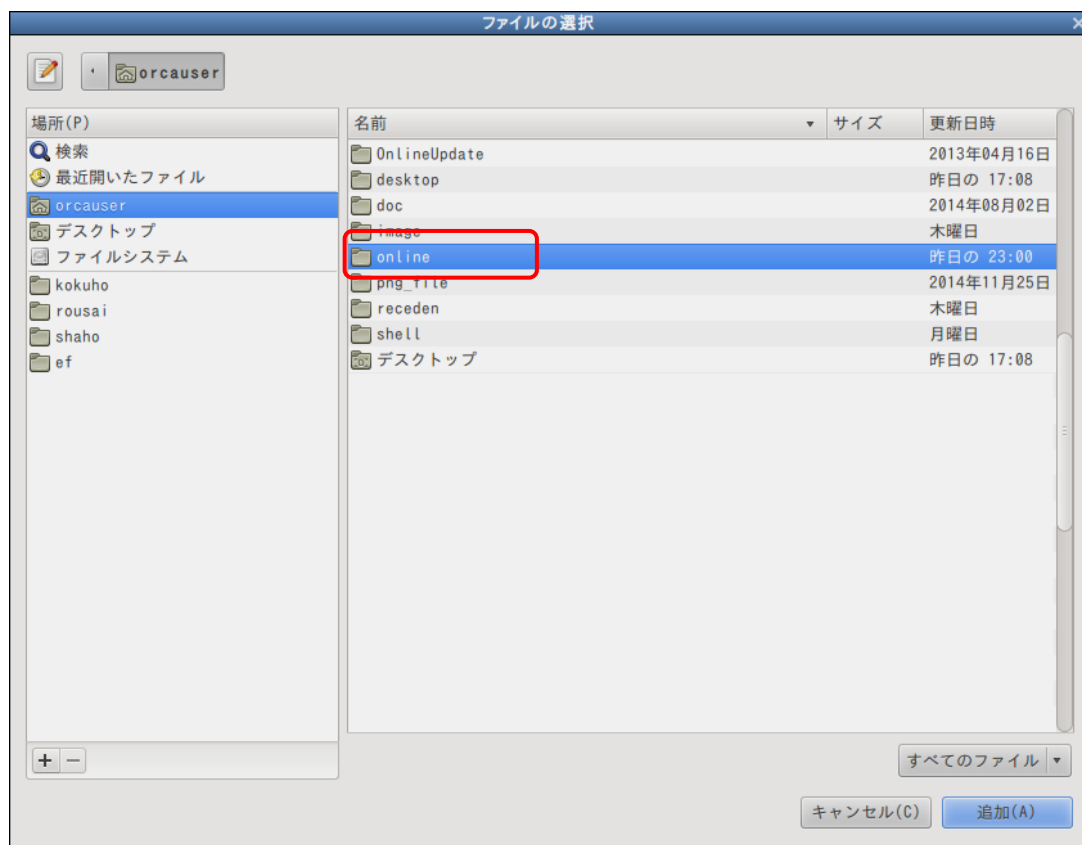
3. 「新しいプロジェクトの作成」画面で「データプロジェクト」を左クリックします。



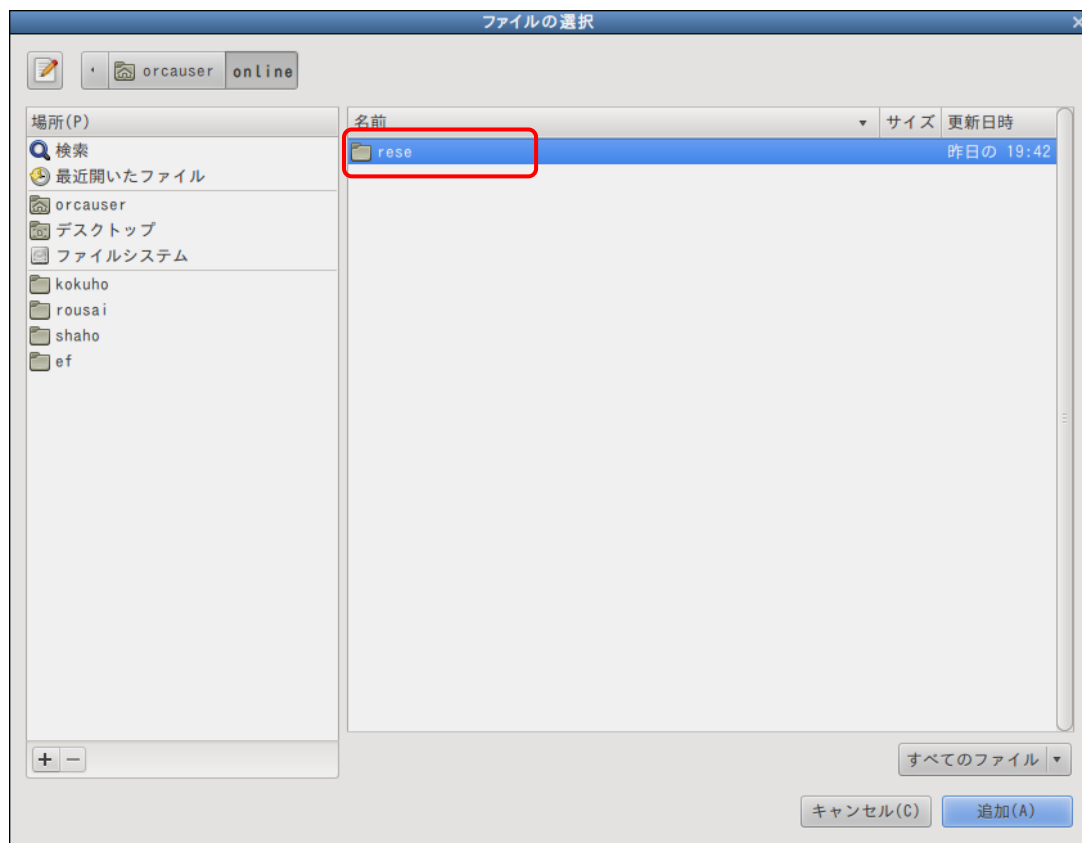
4. 下記画面が表示されたら「+」ボタンを左クリックします。



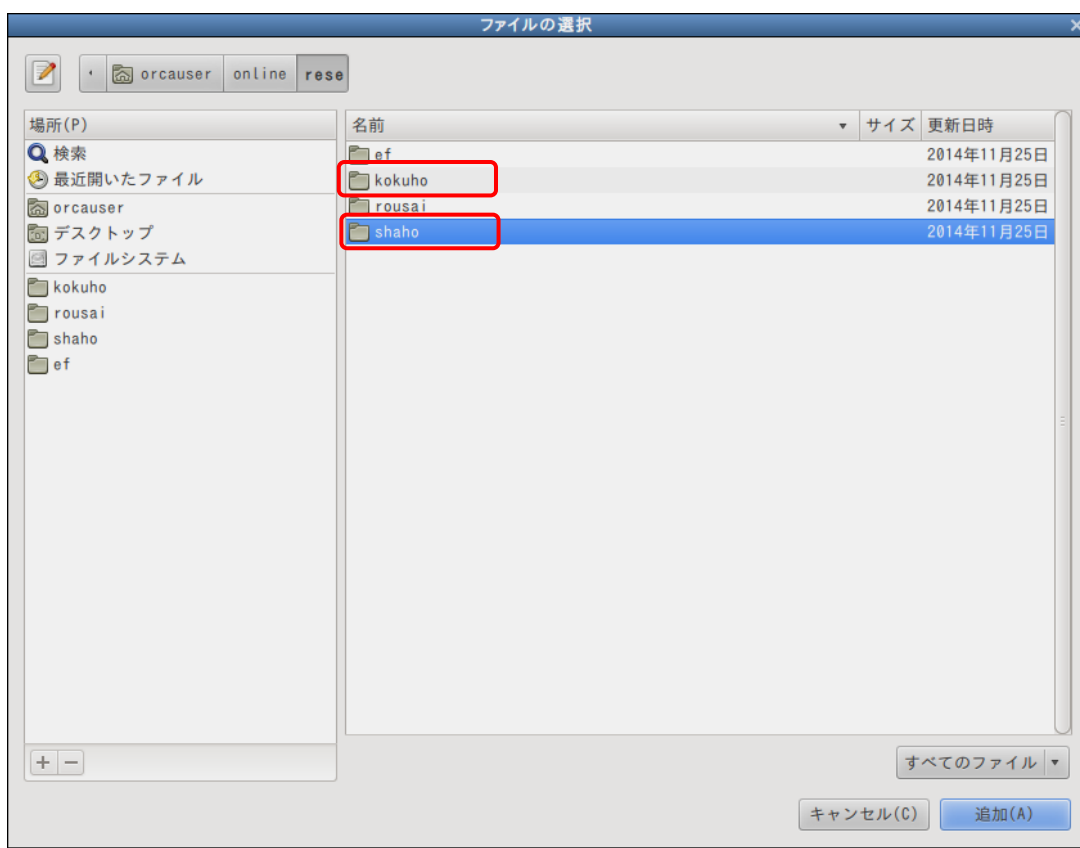
5. 「ファイルの選択」画面で「online」をダブルクリックします。



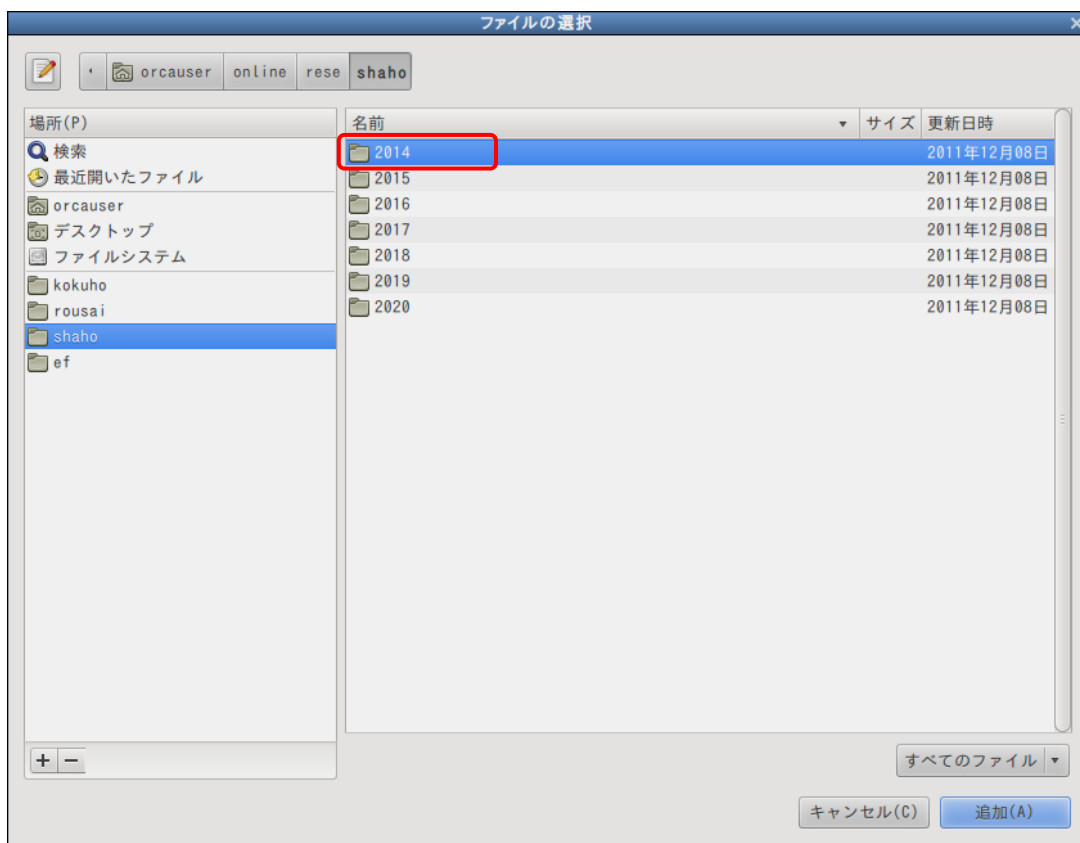
6. 次に「rese」をダブルクリックします。



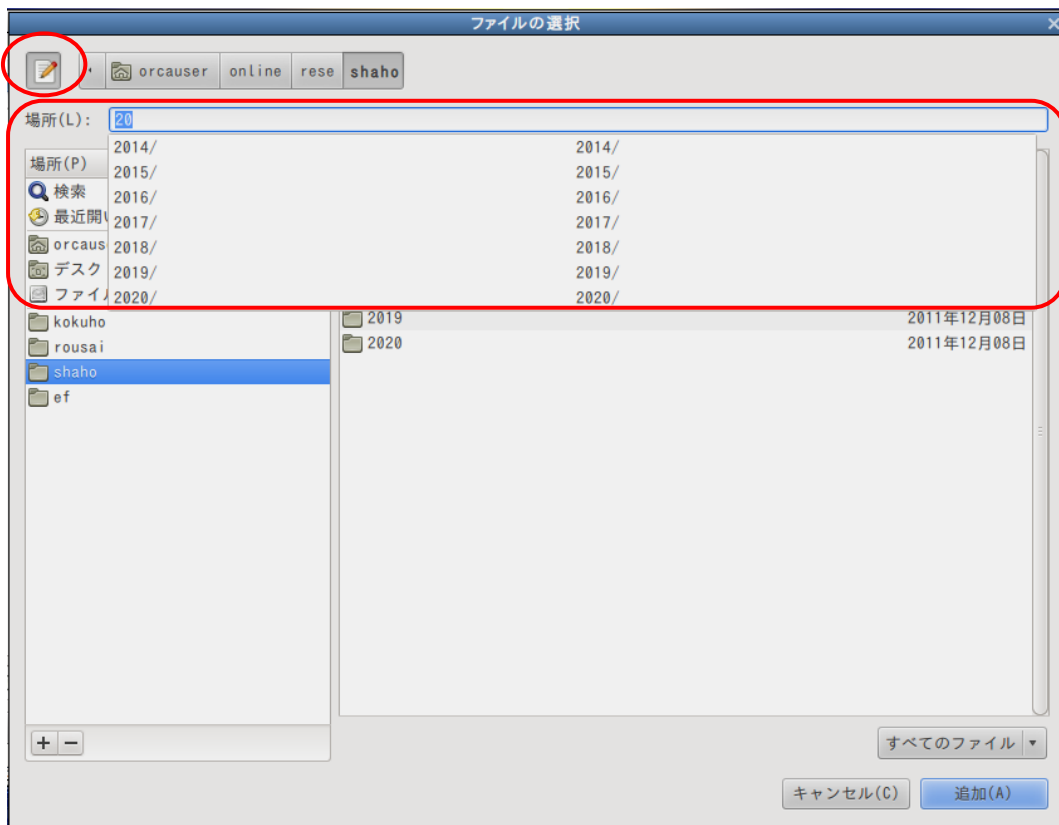
7. 次に「shaho (kokuho)」をダブルクリックします。※本例では「shaho」を選択します。



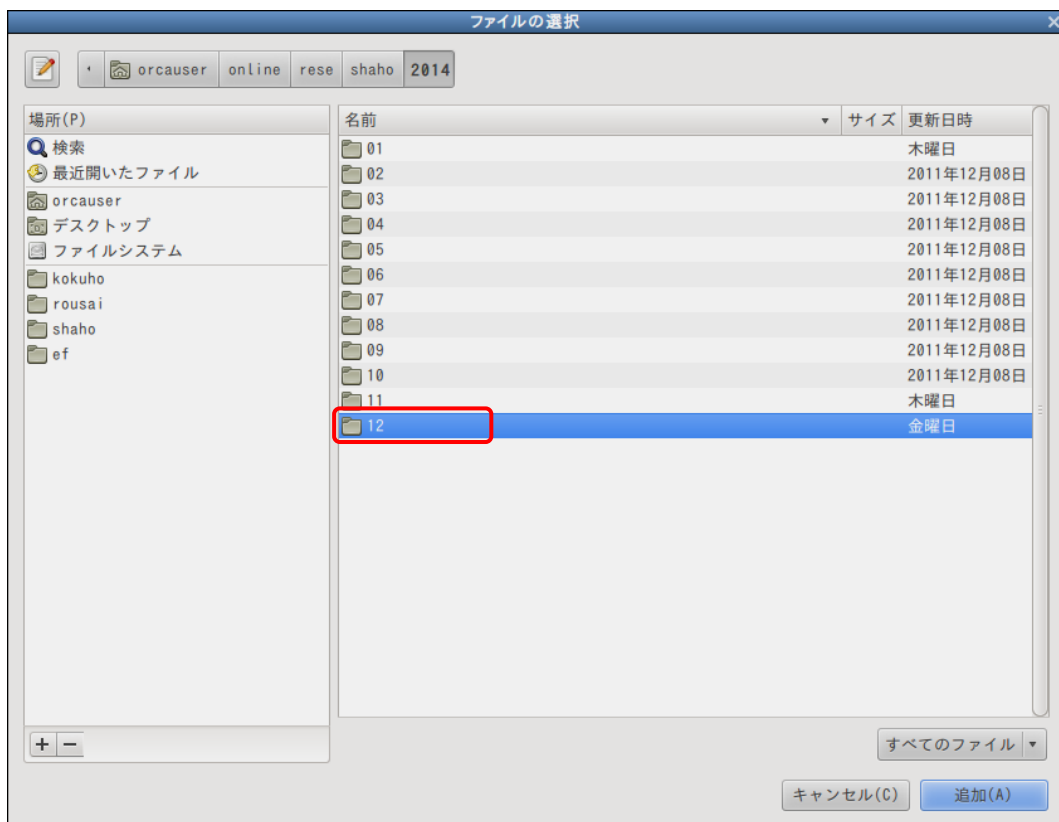
8. 次に「年」フォルダをダブルクリックします。※本例では該当年（2014）を選択します。



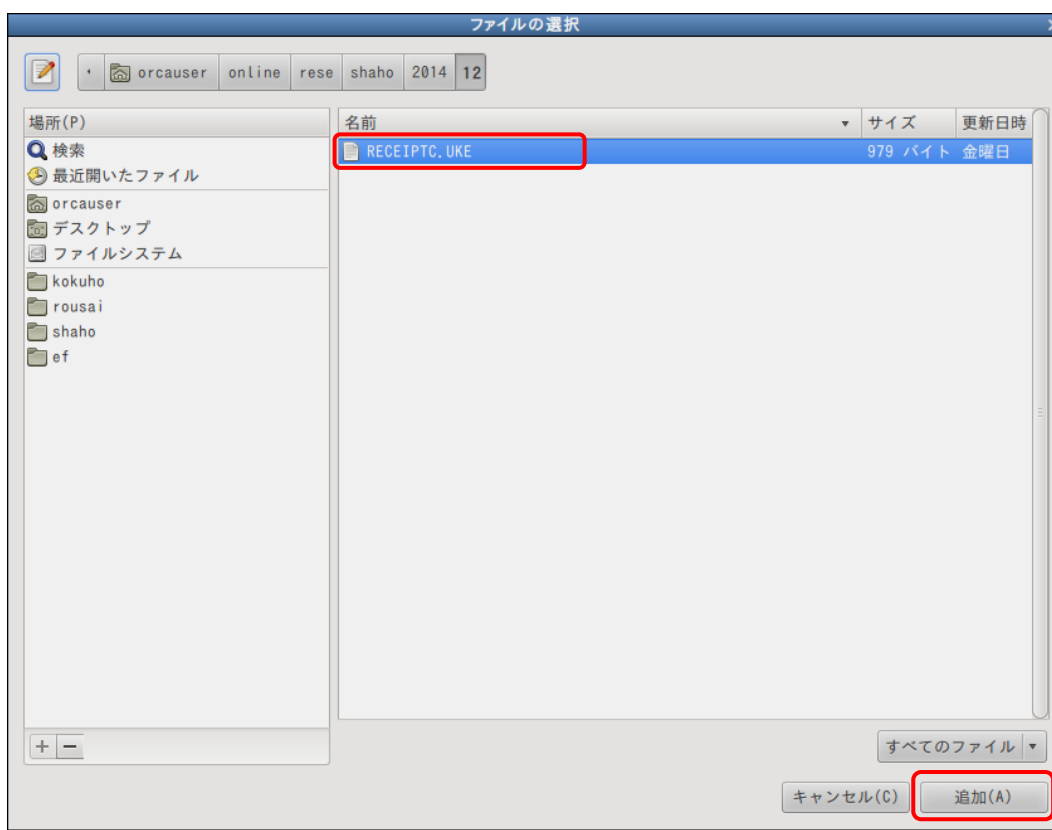
※以下のような画面になった場合は  ボタンをクリックし、「場所 (L):」欄を非表示にします。



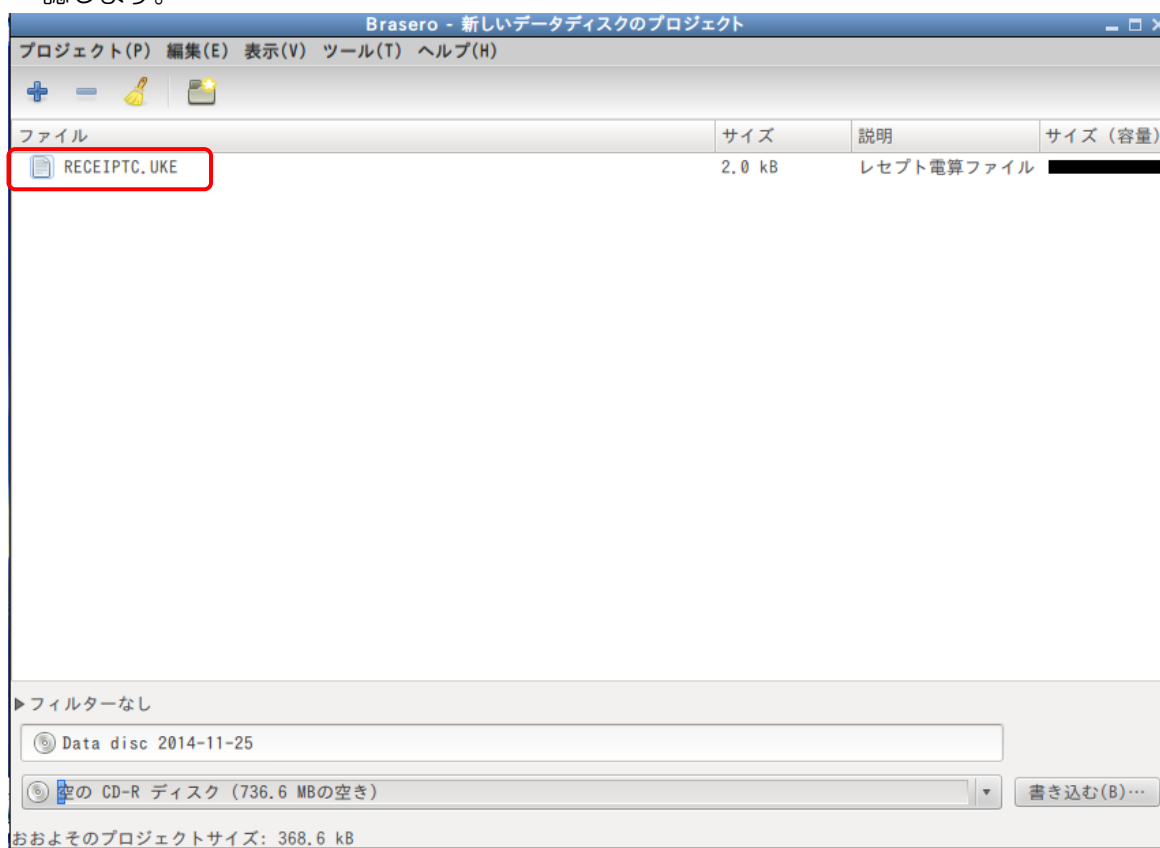
9. 次に「月」フォルダをダブルクリックします。※本例では該当月（12）を選択します。



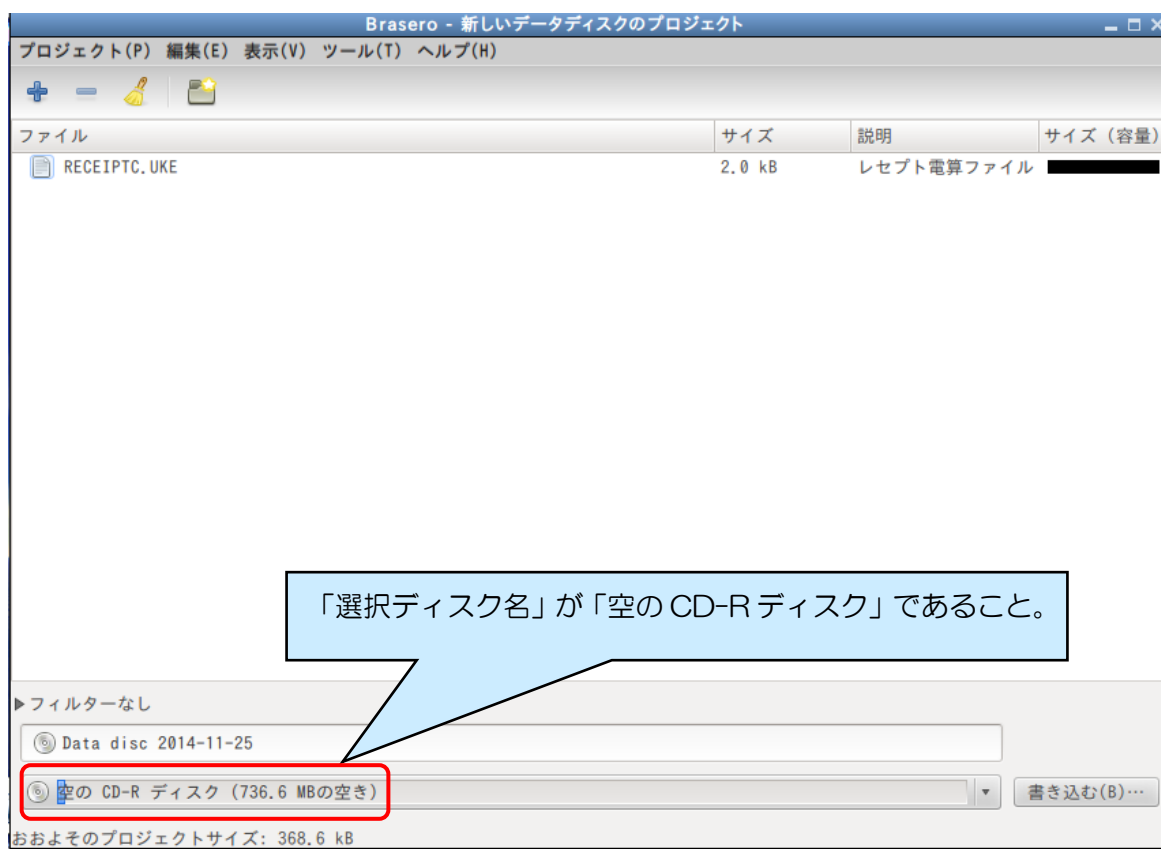
10. 次に「RECEIPTC.UKE」ファイルを選択し、「追加」をクリックします。



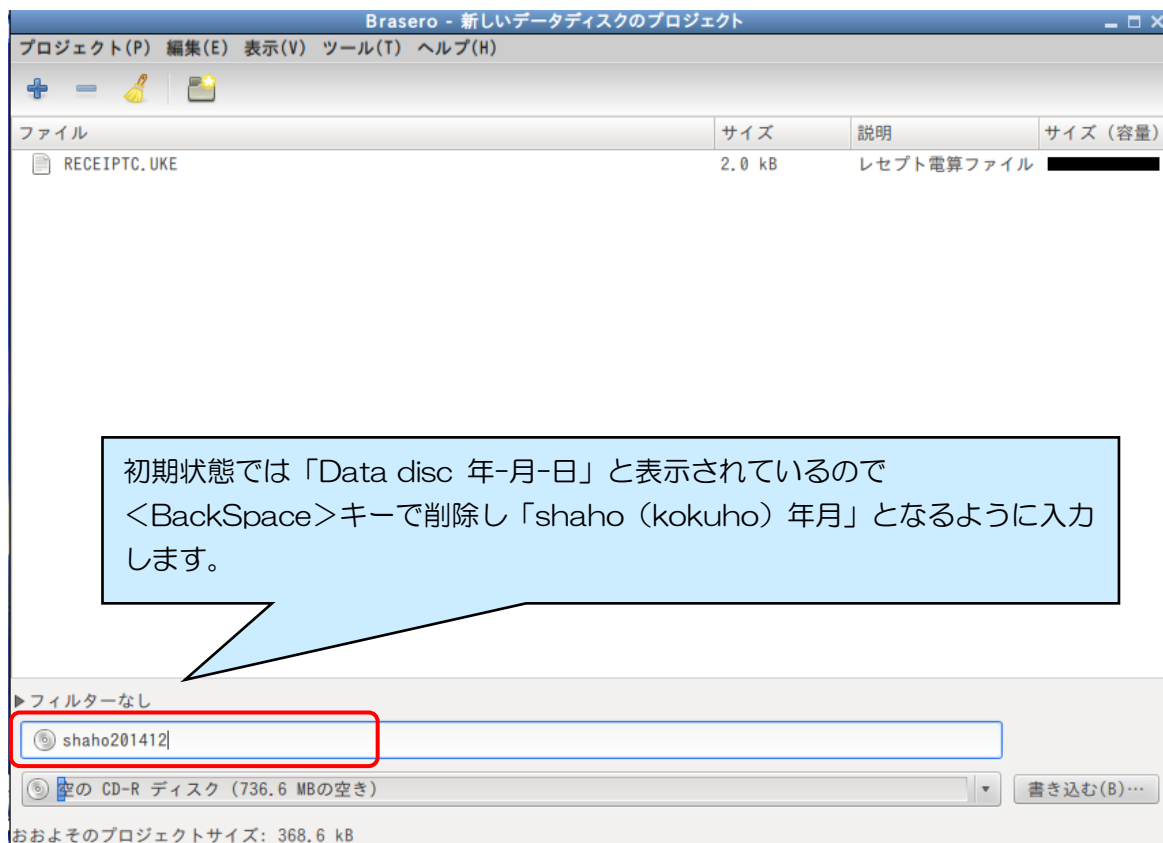
11. 下記画面が表示されたら「ファイル」欄に「RECEIPTC.UKE」ファイルが存在することを確認します。



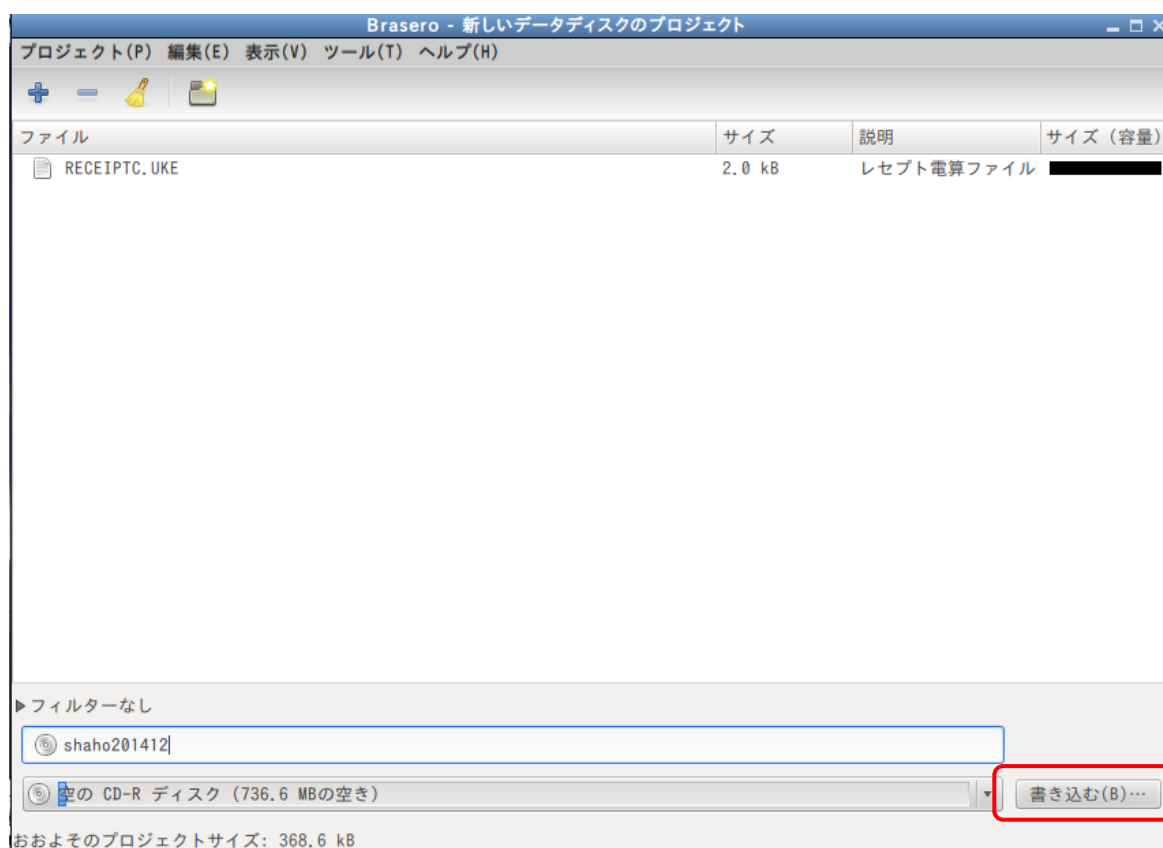
- 1 2. 次に「選択ディスク名」が「空の CD-R ディスク」であることを確認します。



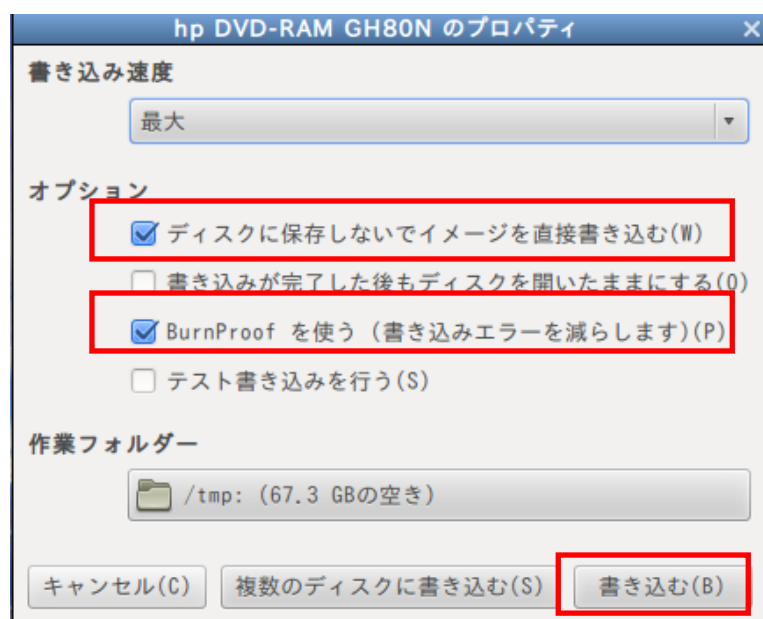
- 1 3. 次に今回データを保存するための「ディスクラベル名」に「shaho (kokuho) 年月」を入力します。※本例では該当年（2014）該当月（12）になっています。



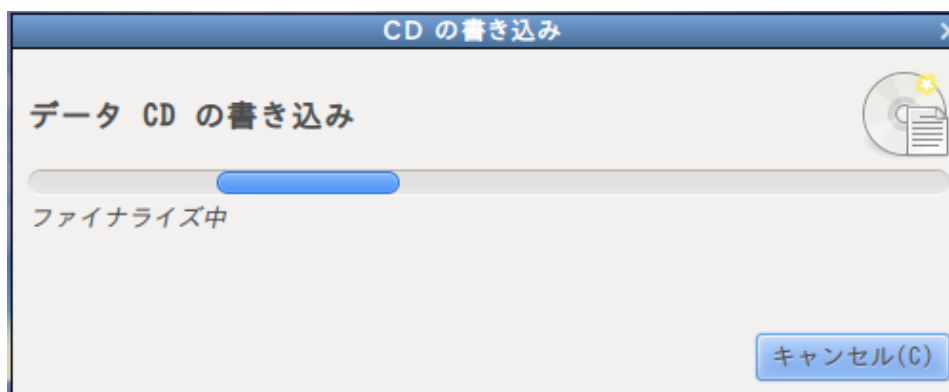
- 1 4. 次に「書き込む(B)」ボタンをクリックします。



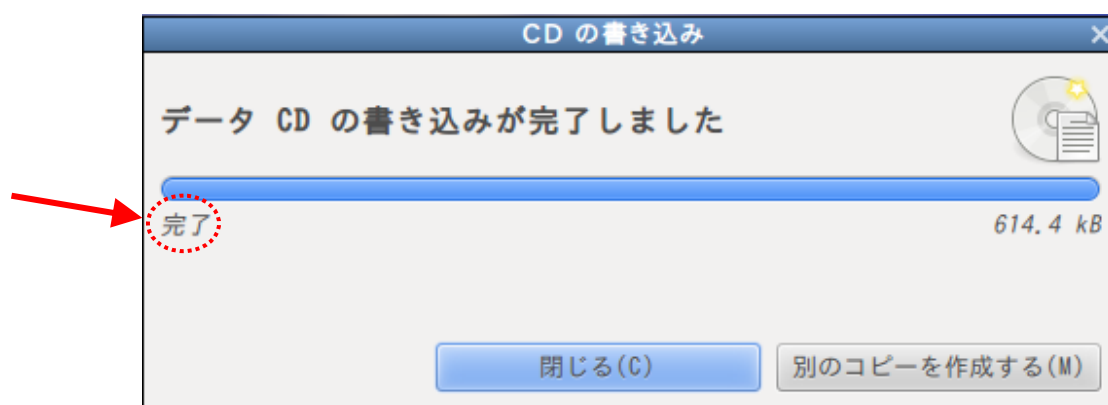
- 1 5. 下記画面が表示されたら、「ディスクに保存しないでイメージを直接書き込む(W)」と「BurnProof を使う (書き込みエラーを減らします) (P)」にチェックを入れ、「書き込む」を左クリックします。



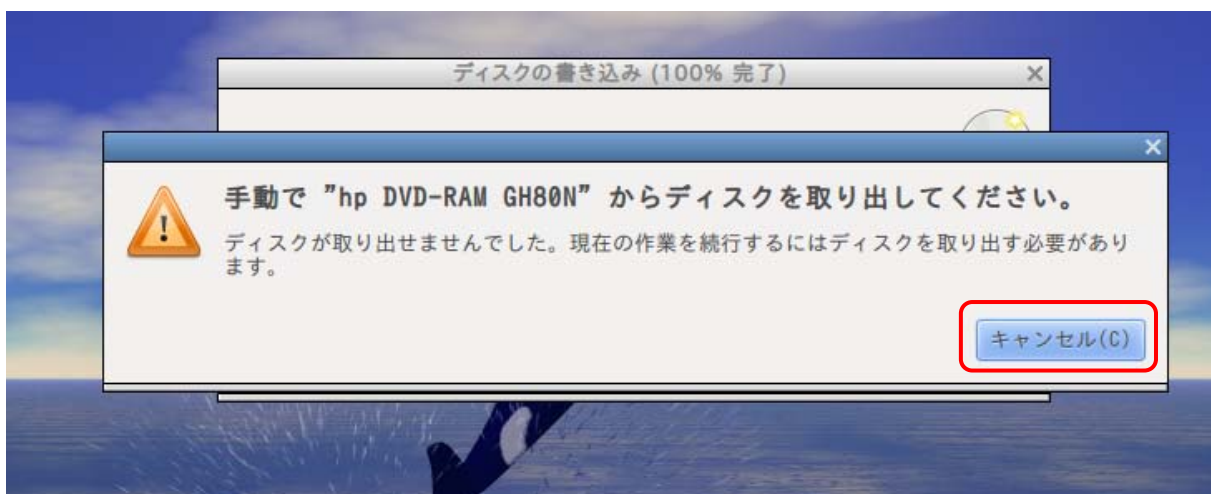
16. 「データをCDへ書き込み」画面が開き、電子データ（レセプト電算データ）をCD-Rディスクに記録する処理を開始します。



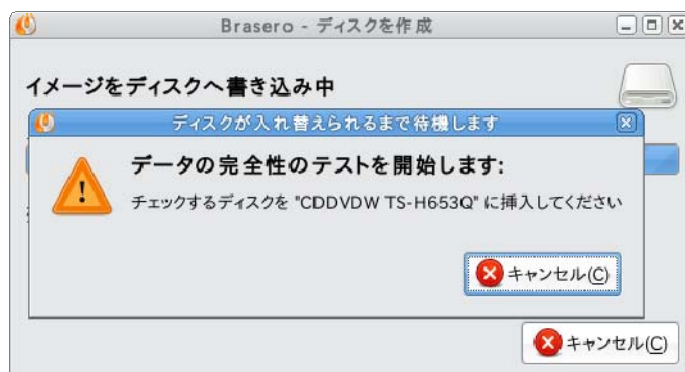
17. 記録処理が終了すると自動的に光学ドライブのトレイが開きます。「データ CD への書き込みが完了しました」と表示され、青いバーの下には「完了」という文字が表示されます。



- ※ 書き込み後、自動的にトレイが開かずに「手動で取り出してください」と表示される場合があります。この時は手でトレイから取り出し、キャンセルボタンをクリックします。



- ※ 「イメージをディスクに書き込み中」と表示された後、「データの完全性のテストを開始します」と表示されてディスクが出てくることがあります。ディスクの入れ替えは行わず、そのまま光学ドライブのトレイを押し込んでディスクを再度セットしてください。



以上でディスクへの書き込みは完了です。

18. 「ディスクの書き込み（100%完了）」画面の「閉じる」ボタンをマウスでクリックして画面を閉じます。

これで、社保の電子データ（レセプト電算データ）のCD-R ディスクへの記録は終了です。「Brasero」の画面は「プロジェクト」→「終了」を選択し、画面を閉じます。

CD-R ディスクへ正しく記録できているかどうか、次ページ以降の手順で確認します。

2. CD-R ディスク記録済みデータの確認手順

CD-R ディスクに記録した電子データ（レセプト電算データ）を日医提供の「レセ電ビューア」を用いて確認します。

1. 電子データ（レセプト電算データ）を記録済みの CD-R ディスクを光学ドライブにセットします。

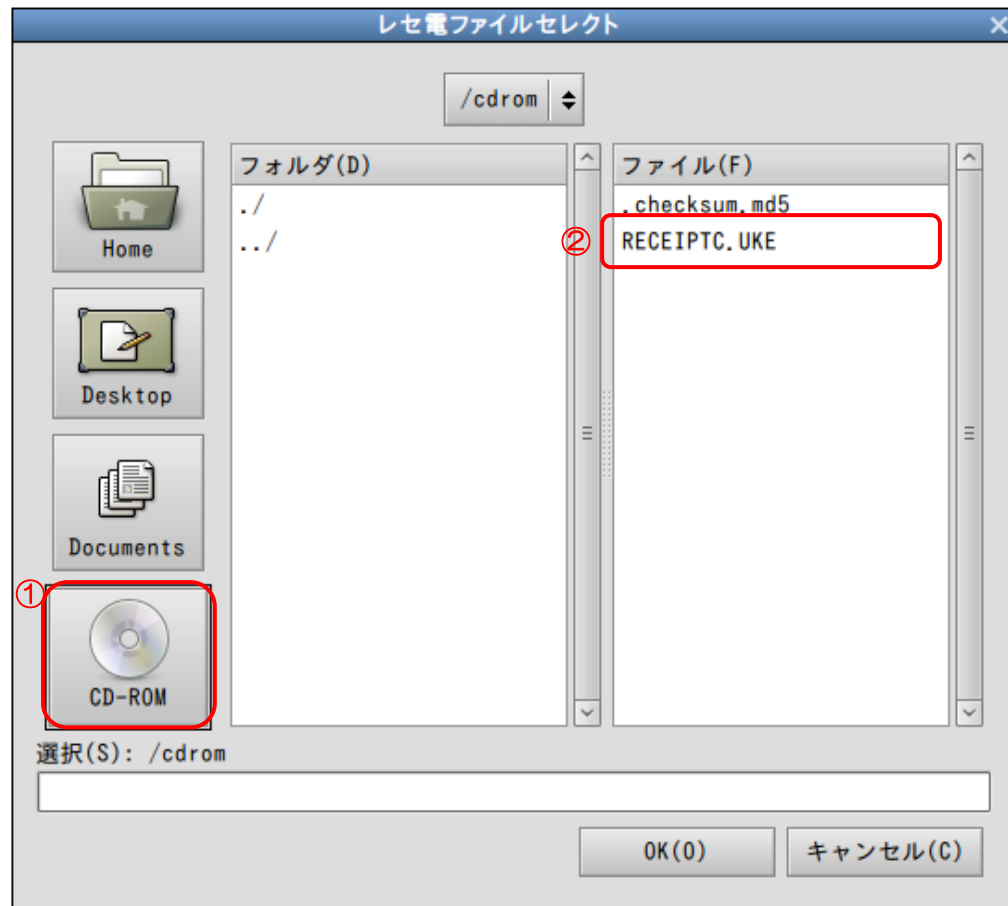


- ① 光学ドライブのイジェクトボタン（左図の赤丸）を押してトレイを開きます。
- ② トレイに CD-R ディスクを「文字が印刷されている面を上にして」トレイにセットします。
※サーバ本体を縦置きしている場合は、CD-R ディスクを「文字が印刷されている面を左にして」トレイにセットします。
- ③ イジェクトボタン（左図の赤丸）を押してトレイを閉じます。

2. パネル「レセ電ビューア」のアイコンをクリックし、レセ電ビューアを起動します。



3. 「レセ電ビューア」が起動したら、「ファイル(F)」メニューから「開く(O)」を選択します。「レセ電ファイルセレクト」画面が開きます。
 4. 「レセ電ファイルセレクト」画面で、
 - ① 左側の「CD-ROM」アイコンをマウスでクリックします。
 - ② 「ファイル(F)」の枠内に表示される「RECEIPTC.UKE」をマウスでクリックします。
- ※ 上記以外の手順でファイル選択を行うと、画面がフリーズする場合がありますので、手順通りにファイル選択を行ってください。



5. レセ電ビューアが起動します。

保険者番号	レセプト種別	公費種別	診療年月	件数	合計点数	内訳
▷	医保単独 本人 入院外			436	899,367	
▷	医保と1種の公費併用 家族 入院外			9	18,334	
▷	老人単独 9割 入院外			158	519,116	
▷	医保単独 家族 入院外			219	413,318	
▷	医保単独 本人 入院			19	527,736	
▷	医保単独(70歳以上) 9割 入院外			40	116,670	
▷	老人単独 9割 入院			15	521,368	
▷	公費単独 本人 入院外			46	166,733	
▷	老人単独 7割 入院外			6	29,963	
▷	医保と1種の公費併用 本人 入院外			7	13,118	
▷	医保単独(70歳以上) 7割 入院外			7	13,044	
▷	老人と1種の公費併用 7割 入院外			2	4,617	
▷	公費単独 本人 入院			2	87,147	
▷	医保単独 家族 入院			3	96,124	
▷	公費と1種の公費併用 本人 入院外			1	9,118	
▷	医保単独(70歳以上) 9割 入院			1	49,495	

レセ電ビューアによる確認には、3つの方法があります。

① 種別点数情報

「種別点数情報」タブを選択すると以下の情報を表示します。

- ・ 社保・・・レセプト種別毎の情報
- ・ 国保・・・保険者番号毎の情報

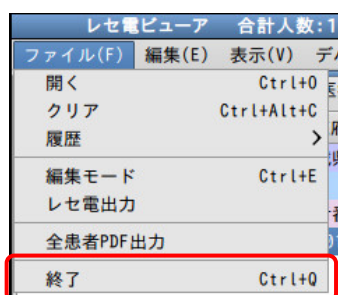
② 医療機関／患者情報

「医療機関／患者情報」タブを選択すると、医療機関毎の情報や患者毎の情報を表示します。

③ レセ電コード

「レセ電コード」タブを選択すると、電子データ（レセプト電算データ）の内容をそのまま表示します。

6. 確認が終わったら「レセ電ビューア」を閉じます。「ファイル(F)」メニューから「終了(Q)」を選択します。



7. 光学ドライブから CD-R ディスクを取り出します。光学ドライブのイジェクトボタンを押してトレイを開きます。一度で開かない場合には、再度イジェクトボタンを押してください。トレイが開いたら、CD-R ディスクをトレイから取り出します。

これで、CD-R ディスクに記録した電子データ（レセプト電算データ）の確認は終了です。

3. CD-R への表記

・ CD-R への表記

CD-R へ下記の項目を油性マジックなどで記入します。

- ・ 医療機関コード
- ・ 医療機関名称
- ・ 医科
- ・ ○診療年月分
- ・ 提出年月日
- ・ ○枚（枚数）
- ・ 支払基金又は国保連

